



# たまがわ 広報

編集と発行  
福島県石川郡玉川村役場  
大越力夫  
でんわ 川辺 1・39・124  
印刷所  
須賀川市加治町69  
有限会社 円谷印刷

## 村のようす (9月1日現在)

世帯数 1,425戸  
人口 7,698人  
男 3,736人  
女 3,962人  
面積 46.65 K<sup>m</sup><sup>2</sup>



## 楢木40万本を目指す しいたけ団地

現在須釜地区では冬期間の出稼ぎ対策の一環として豊富な林産資源を活用し椎茸づくりを始めている。これは昭和四十年に結成された須釜椎茸生産出荷組合が主体となっていて行なっているもので、現在三十五万本の楢木を保有しており、五ヶ年計画で四十五年迄には常時四十万本の楢木を確保し、一ヶ年間三千万円の

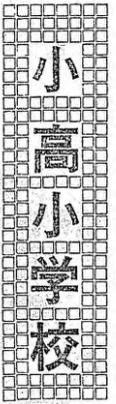


収入を得ようというもの。  
昭和四十一年度村より助成を受けて建設した四十基の水槽を使用し、フレームによる不時栽培も行なっており本年は秋発生のものであります。一〇〇♀ネット袋入二五袋詰めダンボール週に三〇〇箱を須釜農協を通して出荷しており、十二月からの不時栽培を控えて原木の抑制に入っている。本年度の出荷目標は三、〇〇〇箱で現在境田孝意組合長を中心に二〇〇名の組合員が生産に大いに意気込んでいる。椎茸は関東地方は原木が不足で生産は延びなやんでおり、今后益々需要の伸びる産物で今後が大いに期待されている。

## 十月の行事予定表

- 総務課
  - 一七日 議会全員協議会
  - 月間 村有林測量
  - 一三日 月例監査
- 住民課
  - 月間 「赤い羽根」共同募金運動
  - 月間 麻薬撲滅運動
  - 月間 里親を求め月間運動
  - 一七日～一二月一日 結核検診 村内一円
- 建設課
  - 月間 失業対策事業の実施
  - 下旬 災害復旧工事、農道工事、道路舗装工事、設計、入札
- 産業課
  - 二・上旬 村単独事業測量設計
  - 一三日 農業構造改善事業 審査
  - 一四日 農業祭打合せ会(畜産)
  - 一六日～一九日 秋期豚コレラ予防注射
  - 一六日 農業祭打合せ会(農産物品評会)
  - 二三日 仔牛生産検査(西部地区)
- 税務課
  - 二五日 村民税、国民健康保険税納期月間 固定資産評価事務
- 教育委員会
  - 公民館

# 我が村の小学校



小高小学校の履歴を調査のため矢吹広美校長、草野栄寿教頭先生の所に御伺いした。校長室には明治六年創立当時の年表と歴代の校長名、日本歴史との対照表が掲げてあり、学校備付の資料によりますと

明治六年 二分教室ヲ置キ本校ヲ  
六月十六日 小高簡易小学校ト改称  
ヲ以テ創立  
至リシガ全四月川辺ハ  
前第五六区 分離独立シテ川辺簡易  
小十六区長 小学校ヲ設ケ同時ニ当  
区取締石川頼賢二氏ノ  
徳源督励ニヨリ小高村  
伍長首藤敬助、中村伍  
伍長首藤三郎、藤生村  
伍長山田龍平、吉村伍  
長森六郎等諸氏ノ熱心  
ナル協力幹旋効ヲ奏シ  
小高村字向久保八十四  
番地ナル廃寺般若寺ヲ  
以テ仮校舎ニ充テ以上  
四ヶ村ノ共立トシ小高  
小学校ノ開設ヲ見ルヲ  
得タリ。

創立以来僅か一ヶ年  
ニシテ吉村ハ離レテ曲  
木ニ合シ同時ニ西白河  
郡中野目村ヲ(一部)  
合セテ全二十年ニ至リ  
シガ全年四月一日中野  
目村ヲ分離スルト同時  
ニ更ニ小高、中、藤生  
川辺、岩法寺、竜崎ノ  
六ヶ村ヲ合セテ学区域  
トナシ翌二十一年四月  
ニハ竜崎、川辺ノ兩村

ツノ尋常小学校ヲ設ケ  
以テ四十一年七月ニ至  
レリ、然ルニ同校ハ此  
月復ビ本校ニ合併シ竜  
崎ニハ分教場ヲ置クコ  
ト、ナリテ以テ現時ニ  
到レリ。

大正元年十二月教室  
増築木造平家木羽葺六  
八坪七合五勺(二二七、  
二六、<sup>2</sup>/<sub>10</sub>) 経費一、三〇  
七円二八銭村長野崎倉  
七氏。大正五年竜崎分  
教場増築木造平家木羽  
葺五八坪(一九一、七  
三<sup>2</sup>/<sub>10</sub>) 経費一、三五〇  
円村長小山田重四郎氏

大正七年九月校舎増  
築木造二階瓦葺一六八  
坪(五五五、三七<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
経費六、八〇〇円村長  
小山田重四郎氏、校長  
村松久衛氏、昭和十二  
年竜崎分教場改築木造  
平家瓦葺一三二坪二合  
五勺(四三三、八八<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
経費五、六〇〇円村長  
矢部欣治氏、校長迎治  
助氏。昭和二十八年竜  
崎分教場増築木造平家  
瓦葺三〇坪(九九、一  
七<sup>2</sup>/<sub>10</sub>) 経費八六五、〇  
〇〇円、村長大木一夫  
氏、校長永沼源一氏が  
現在の校舎の概要であ  
る。現在在校生四二八名  
は次のような教育目標  
のもとにすくすくとの  
びている。

概要  
明六六 小高小学校創  
立、小高村向久保八  
四般若寺を仮校舎と  
する。小高、中、藤生  
吉を学区とする。  
七 吉村を分離中  
野目村に入る。  
二〇 学区を小高、  
中、藤生、川辺、岩  
法寺、竜崎とする。  
尋常科四年、高等科  
四年とする。  
二一 小高簡易小学  
校と改称竜崎、川辺  
に分教場を置く。  
二三 小高尋常小学  
校と改称、川辺小独  
立、石川郡泉村とな  
る。  
二五 竜崎小学校独  
立、竜崎、岩法寺区  
分離。  
三二 校舎新築、木  
造平家木羽葺一二〇  
坪(三九六、六九<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
附設。  
三二 泉高等小学校  
附設。  
三五 宿直室増築、  
木造平家木羽葺八坪  
(二六、四四<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
四一 竜崎、岩法寺  
を本校に合併、竜崎  
に分教場をおく。  
四三 石川郡小高尋  
常高等小学校となる  
四五 校舎増築、木  
造平家木羽葺六八坪  
七合五勺(二二七、  
二七<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
大五 竜崎分教場増  
築木造平家木羽葺五

八坪(一九一、七三  
<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
八 増築、木造二  
階木羽葺六教室一五  
五坪七合五勺(五一  
四、八七<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
一五 泉青年訓練所  
併設  
九 本校改築木造  
二階建瓦葺二五〇坪  
(八二六、四四<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
二二 竜崎分校改築  
木造平家瓦葺一三一  
、二五坪(四三三、  
八八<sup>2</sup>/<sub>10</sub>)  
一六 石川郡泉村立

小高国民学校と改称  
二二 石川郡泉村立  
小高小学校と改称。  
昭二八 竜崎分校増築  
木造平家セメント瓦  
葺三〇坪。  
三〇 町村合併によ  
り石川郡玉川村立小  
高小学校と改称。  
三四 優良PTAと  
して表彰。  
昭三六 県指定統計教  
育研究公開。県合唱  
コンクールに郡代表  
として出場、優良校  
となる。

この度図らずも助役に推され  
過日就任いたしました。事務に  
ついては勿論のこと、その他の  
ことについても全くの素人です  
が精一杯勤めたいと思ひます  
ので、よろしくお願ひします。

## 「あつち」

玉川村助役  
矢吹 幸夫

助役職は村長の補佐役であり  
ます。大越村長は既に御存じの  
ように純農村の首長という強い  
自覚と信念の上に立って農業振  
興策を重点的に推進したいと、  
すでに力強く歩を踏み出してお  
す。

ります。私亦農政については素人  
ながら大きな関心を持っておた  
だけに、大いにやがいを感じて  
いるのであります。私の取得は正  
直だと自認しております。  
これをバックボーンとし誠実一  
途に進みたいと思ひます。又役  
場吏員が村民の公僕としてのサ  
マシさをもち、これを基調  
といたして、その源は和  
であること信じたいと思ひます。  
整備に努力したいと思ひます。  
簡単な一筆もって御挨拶申  
上げ、よろしく御願ひ致します。

小高小学校教  
育目標  
(イ)健康で明かるい子ど  
もに。  
(ロ)希望をもって学習に  
はげむ子どもに。  
(ハ)友だちと仲よく協力  
できる子どもに。  
(ニ)進んで仕事をし、勤  
労を喜ぶ子どもに。  
(ホ)学校や社会のきまり  
を正しく守る子ども  
に。  
(ヘ)物や道具をたいせつ  
に使う子どもに。  
(ニ)挨拶、言葉づかいが  
正しくできる子ども  
に。

発会の目的は、会員  
の校外生活をよくする  
ため交通道徳を守り鉄  
道についての理解を深  
め踏切りの安全な通行  
や鉄道の施設を愛護す  
る、りっぱな小学生に  
なることを目的としま  
す。水戸鉄道管理局の  
武石公安課長が見えら  
れ会長、副会長、書記  
を選任。玉川村長、教  
育長、小高小学校長、  
同PTA会長、玉川村  
警官駐在所、玉川村運  
転者会長、泉郷駅長を  
相談役に選んで次のよ

「あちのことば」  
ちかいのことは、  
(一)せんろやてつきょう  
は、きけんですから  
あるきません。  
(二)ふみきは、かなら  
ずとままって、でんし  
やや、きしやがこな  
いかなを、よくたしか  
めてからとおります  
(三)せんろや、そのちか  
くではあそびません  
(四)せんろのうえに、い  
いたずらをしません  
(五)でんしやや、きしや  
ものにむかって、いしや  
ものをなげたりしま  
せん。

## 鉄道愛護 小高小子供会発足



うな「ちかいのことば」  
を編みあげ各班長に、パ  
ツヂを渡して発会式を  
終りました。

# 議会だより

## 助役に矢吹幸夫氏選任

収入役に大竹保重氏再任

監査委員に小針安司 月四日閉会した。提出  
氏、教育委員に鈴木広 された主な議案は次の  
一氏を選任。

### ●第二回臨時会

玉川村議会第二回、  
臨時会は去る九月七日  
全議員出席のもと開ら  
かれ、空席だった、助  
役選任の議案が提出さ  
れ、矢吹幸夫氏が選任  
された。

### ●第三回定例会

去る九月三十日、第  
三回定例会が招集され  
会期七日間と決定、旅  
費支給条例の改正案な  
ど十一議案を審議、十  
議案第二十四号 職員

の給与、勤務時間そ  
他の勤務条件に関  
する条例の一部改正  
について。  
(以上四件は旅費支給  
条例の改正案である)  
議案第二十五号 昭和  
四十一年度一般会計  
決算報告について。  
議案第二十六号 昭和  
四十一年度国保会計  
決算報告について。  
議案第二十七号 昭和  
四十二年度一般会計  
補正予算(第一号)案  
議案第二十八号 昭和  
四十二年度国保特別  
会計補正予算(第一  
号)案

議案第三十号 教育委  
員の任命について、  
鈴木広一氏を選任。  
又、収入役に四度び  
選任された大竹保重

氏は県下有数の名  
収入役のほまれ高  
く、円満なる人格  
と相俟って、玉川  
村財政運営の発展  
に大いにその活躍  
が期待される。  
監査委員に選任  
された、小針安司  
氏は豊富な識見と  
監査技術は他の追  
従を許さず、その  
公平な人格はまさ  
しく当を得た選任  
と云いよう。  
教育委員に選任され  
た、鈴木広一氏は、新  
しい。

## 住みよい郷土をつくる 郵便貯金奨励運動実施

郵政省では大蔵省、

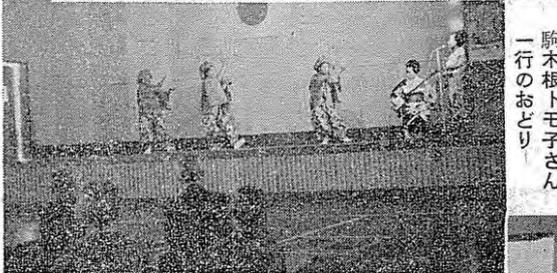
自治省等その他各機関  
後援のもとに、十月一  
日から「住みよい郷土  
をつくる郵便貯金奨励  
運動」を実施していま  
す。郵便貯金は大蔵省  
の資金運用部をおし  
て町や村に貸し出され  
て公共施設の充実(学校  
住宅、道路等)、地域住  
民の福祉の増進に直接  
間接に市町村財政に大  
きな役割を果していま  
す。つきましては本運  
動の趣旨を御理解下さ  
いまして、史上最高の  
豊作が伝えられる米作  
であり、産米代金、野  
菜代金等一年間の結晶

## 敬老会所見

42.9.15  
泉中屋体



大越村長より感謝状の伝達



駒木根トモ子さん  
一行のおどり



熱心におどりをみる御老人



進気鋭の活動家として  
山積されて居る教育行  
政に対しての期待が大  
きい。

## 玉川村農業祭 実施計画のお知らせ

先月号の広報でお知  
せいたしました、農業  
祭については先にお知  
せしました四つの行事  
の他に村民芸能コンク  
ル大会、生花、その  
他の展覧会、学生作品  
コンクール等を農業祭  
の一環として行うこと  
になり、村民挙って豊  
作を祝いたいと思いま  
すので、村民の皆様  
の協力を願います。  
その概要は次のとお  
りです。

日	時	ところ	行 事 名	あ ら ま し
二、三	九、〇〇 三、〇〇	泉中東側	畜産共進会	和牛、乳牛、豚について行う。 出場予定数二〇頭。授賞数一 二〇点。
二、三	九、〇〇 四、〇〇	泉 中	農産物・品評会	米、雑穀、野菜、果樹、たばこ の五品目とし、出品予定三〇〇 点、授賞数七五点。
二、三	九、〇〇 四、〇〇	泉 中 公民館	小中学校生徒児童 童作品コンクール	図書、習字、等の作品の展示。
二、三	九、〇〇 四、〇〇	泉 中 公民館	生花、盆栽、そ の他観賞品展覧 会	生花、盆栽、その他の観賞品を 村民より出品を依頼し村民一般 に展覧する。
二、三	九、〇〇 四、〇〇	泉中屋体	農 業 振 興 発 表 大 会	出場者一〇名を予定し、一名十 分以内の体験発表及普及改善の 構想、村、県、国への農政の望 むもの等について発表せしめ優 秀なるものに賞品を授与する。
二、三	九、〇〇 四、〇〇	泉中屋体	農政大講演会	樺大角田教授外一名を予定し日 本農業の今後のあり方等につい て講演会を行う。
二、三	九、〇〇 四、〇〇	泉中屋体	表 彰 式 村 民 芸 能 コンクール大会	歌謡曲二〇と、芸の伴うもの一 五名、計三五名を予定し、授賞 品をおくりに有名芸能人の特別出 演を予定している。

を健全な家計と住みよ  
い郷土づくりに役立て  
下さい。  
安全で有利な郵便局  
の「定額貯金」或は家  
屋建築、旅行、結婚等  
各種プランに積立貯金  
をお勧めします。  
玉川 村  
川辺郵便局  
須釜郵便局  
局より御知らせ  
例年のことですが、  
年賀はがきは、来月十  
日から売り出されま  
す。お近くの郵便局又  
は各切手売捌所にてお  
求め下さい。  
泉郷駅に電話が  
が入りました  
泉郷駅には電話がな  
く不便を感じておりま  
したが村当局より電話  
が寄贈になり過日開通  
しました。駅の電話を  
どしどし御利用下さい  
電話番号  
川辺局 一三七番

# どんなことでも

## 相談に応じます

どんな人でも生活を  
して行くには色々な  
やみや迷が伴う事は人  
生の常ですが、そんな  
時に誰かと相談したい  
と思うことも有ると思  
います。そんなときに  
最も気軽に相談相手に  
ならうとして本村でも  
三十五年以来「心配ご  
と相談所」を設置して  
参りました。

一時国及県補助の打  
切もありましたが村独  
自で継続して参り、四  
十一年度の取扱実績は  
次表の通りであり、相  
談して良く行ったと喜  
んで居る者も相当ある  
ところでもあります。

生活苦による 一一 親身の立場から相談に  
家族不和による 一八 乗らして頂き度いと思  
職業に関して 一

児童母子に関して 二  
老人に関して 三  
健康医療に関して 七  
結婚に関して 七  
その他 三九  
合計 七一

## 九州の旅

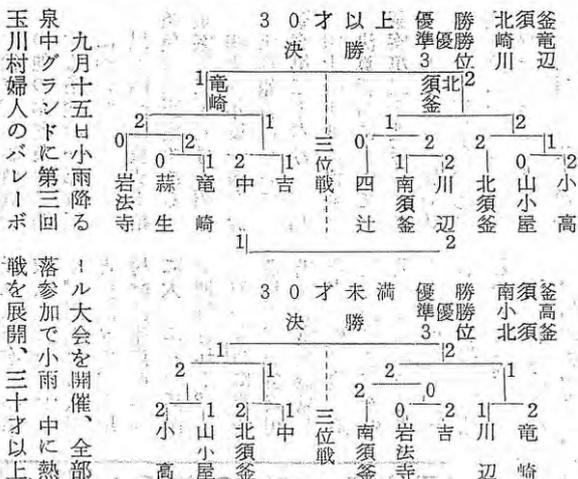
溝井 一郎

頂上に一点見えし猿景も風の如くに押  
して下りぬ  
白き腹ひとつふたつが見えそめてたち  
まち大さき集団となる  
や、いづる旅の疲れか雨の手を大きく  
上げる三角の掉頭  
舟の汽動身にこたへるは疲れたるしる  
しと思ふ島原の海  
海よりの風はいさゝか冷へもちて気づ  
かね程の雨を降らせり

## 第3回玉川村婦人バレーボール大会 盛大のうちに終了



いますから、気軽に御  
出下さる様御待ち致し  
て居ります。  
相談は、社協事務所  
(旧役場)では毎日行  
って居りますし、須釜  
支所でも毎月十二日に  
来談があれば応ずるこ  
とになって居ります。  
各民生委員も相談員に  
なって居りますから御  
都合の良いところに御  
出下さい。  
(社会福祉協議会)



九月十五日小雨降る  
泉中グラウンドに第三回  
玉川村婦人のバレーボ  
ル大会を開催、全部  
参加で小雨中に熱  
戦を展開、三十才以上  
四辻新田  
塩田  
見徳義

## 秋風 関根 栖泉

秋口の風の軽さに雨ひかり  
つゆ草のいねに触れゆく老の朝  
熱れせめし柘榴に雨の霽れゆけり  
ひとまれに花のこぼるる閑の跡  
台風になふ雨具を重ね臥す  
一人居の雨に読みをり昼の虫  
野の仏かくるる草に虫のこゑ

## 赤ちやんが頭を打つたら

赤ちやんがベッドや  
階段などから落ちて頭  
を打つたら……  
傷がなく、コブがで  
たときは冷たいタオル  
で冷やします。コブ  
がどんだん大きくなる  
ときは、大きい血管が  
切れたのですからすぐ  
にお医者さんへ。

## お誕生おめでとう

お誕生おめでとうございます  
(九月分の出生届書から)

- 九二 区長 会
- 九三 農業委員会
- 九四 矢吹助役初登庁
- 九五 選挙管理委員会
- 九六 産業課新庁舎に引越
- 九七 総務委員会
- 九八 農業振興協議会
- 九九 農業構造改善
- 一〇〇 会場整備事業入札
- 九二 林道工事入札
- 九三 水稲作況調査
- 九四 敬老会 於泉中
- 九五 婦人バレーボール大会 泉中学校
- 九六 土地改良区理事
- 九七 村祭
- 九八 村民体育祭
- 九九 村議会全員協議
- 一〇〇 第三回村議会定例会

## 逝去お悔み申し上げます

- 九二 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九三 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九四 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九五 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九六 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九七 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九八 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 九九 死亡者氏名 世帯主名 続柄
- 一〇〇 死亡者氏名 世帯主名 続柄

## 先月の日誌より

## 編集後記

助役さんも決定、収入役さんも留任、ようやく役員内も、落ちついて来ました。  
心配した台風もなく、史上最大の豊作、備いあれば憂なし、来年に備へましよう。